

平成30年度 第2回津奈木町総合教育会議録

- 1 期 日 平成31年2月27日(木) 開会 午前10時00分
閉会 午前11時10分
- 2 場 所 津奈木町役場2階会議室
- 3 出席者(6名)
津奈木町長 山田豊隆、教育長 塩山一之、
教育委員 福田征起、寺床浩治、林田雄二、雑賀優美
- 4 欠席者
なし
- 5 出席事務局職員
教育課長 椎葉正盛、総務課長 林田三洋、総務課 川野裕司、小山真也子
- 6 出席を要請し、出席した者
なし
- 7 傍聴者
なし
- 8 議 題
 - (1) 平成31年度(2019年度)以降の教育の流れについて
 - (2) 平成31年度(2019年度)から向こう5年間の津奈木町教育基本計画について
 - (3) 平成31年度(2019年度)津奈木町の教育概要について
 - (4) いじめ問題対策協議会の開催について
 - (5) 当面する教育の課題について(協議)
 - (6) その他
- 9 審議内容
 - 事務局)
おはようございます。みなさん、お集まりのようなので、平成30年度津奈木町第二回総合教育会議を始めさせていただきます。先ず始めに町長から挨拶をお願いします。
 - 町長)
みなさん、おはようございます。朝早くからお集まりいただきまして大変ありがとうございます。本日は第二回総合教育会議ということで、みなさんにご協議をいただきたいと思います。最近ではテレビ等でみなさんもお存知だと思いますが、いろんないじめとかあるいはコンビニ等で考えられないような行動がInstagramに流れており、非常に昔と比べて道徳心が欠けているような気がします。本当に何であんなことやるのかなというような気がしているところでございます。そしてまたテレビを見

ておりますとアスリートがインタビューを受けるときには英語で受け答えしているのが頻繁に見受けられます。津奈木町でもそのように英語を話せるようにしているところがございますが、ALT 2人と非常に充実した英語の教育、それと英検の補助金をやっております。また時代の流れとして、スマホとかICTとか、非常に時代の流れが速いようがございます。今日新聞に折りたためるスマホというようなことが載っていましたが、そのような時代でありますので、時代に乗り遅れないようお願いしたいと思います。町と教育委員会が一体となって子供のための教育を社会教育あるいは学校教育、生涯学習をみなさんと一緒に考えていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○ 事務局)

ありがとうございました。それでは、早速議題に入らせていただきます。次第の順番でやっていきますのでよろしくお願いいたします。まず、はじめに平成31年度以降の教育の流れについて、教育長ご説明をお願いします。

○ 教育長)

- ・平成31年度（2019年度）以降の教育の流れについて（資料参照）
- ・平成31年度（2019年度）から向こう5年間の津奈木町教育基本計画について（資料参照）
- ・平成31年度（2019年度）津奈木町の教育概要について（資料参照）

○ 事務局)

ありがとうございました。教育長からお話ありましたとおり、議題の1から3までご説明をいただきまして、これに対して何か質問とかはありませんでしょうか。

○ 教育長)

今後また文科省からも県からもいろいろと出てくるので、その都度修正してやっていかなければならないと思います。これである程度のご理解をいただいたということであれば、これを学校におろしたいと思います。

○ 事務局)

ALTは一人、二月末までとなります。

○ 教育長)

ALTはマリエルとアレクサンドラ二人おります。マリエルのほうがフロリダから来ていますが、寒い時期になるとせきがひどくなって、本人の健康面を考えまして2月28日をもって終了しました。その本人は今年7月末で任期満了の予定でしたので、一応JETのほうには次の一人を要望はしておりましたが、7月末までの間をどうするかはまた考えたいと思います。

○ 事務局)

新しい人を3月から追加はできるのですか。

○ 教育長)

JETはできません。

○ 委員)

通常なら教育委員会で質問することだったのですが、17ページの教育内容の中に小学校、中学校それぞれに「本町における最大の教育課題は学力向上である」とありますが、最大の課題ということは何かあるのでしょうか。例えば、学力が低いとか、教育の効率が悪いとか、何かあってここに明記してあるのか。

○ 教育長)

まず、私たちが教育をするうえで一番心がけなくてはならないことは、子供たちの学力をつけることです。仮に今ある程度の力があつたとしてもさらにとということを考えなくてはならない。これは常に教師に与えられた課題です。そういった意味が一つあります。それと、やはりいい時と悪い時、多少教科によって波があります。だから教育委員会としても最大限に努力をしなければならない課題です。そのことを強調するというのがもう一つあります。

○ 委員)

わかりました。

○ 教育長)

ですから、小中学校に1年おきに学力向上の発表をするようにしています。

○ 総務課長)

31年度から漢字検定も助成をするということで予算化してあると思うのですが。

○ 教育長)

まだ入れてないのは、予算が通っていないのに入れていいのだろうかと思って。通ったら入れます。

○ 総務課長)

ニュース等でも以前話題になった、教科書の重さについては教育委員会としてはどうなのですか。

○ 教育課長)

学校で協議してほしいということで、すでに学校で話し合ってもらっています。

○ 事務局)

私も社会体育のほうでバドミントンを教えているのですが、小学校の学校の先生の勤務時間と中学校の学校の先生はだいぶ差は出たのですか。

○ 教育長)

小学校は部活が社会教育へ移行した分軽減できています。中学校は働き方改革の波と部活動指針の見直しで、以前と比べると格段に勤務時間が減っています。更に努力をしているところです。

○ 事務局)

「Society5.0」についてですが、これ専門の先生がいるのですか。

- 教育長)
いえ、ある程度堪能な先生はいるのですが、先進地のようなところは町で予算措置されたエンジニアがついているような状況です。
- 事務局)
委員さんからありませんか。それでは次の議題に入らせていただきます。いじめ問題対策協議会の開催について、ご説明をお願いします。
- 教育長)
例年、年1回のペースでやっておりますけれども、町内のいじめ問題についての意見交換をします。3月1日に行います。
- 事務局)
それでは次の当面する教育の課題についてです。
- 教育長)
これは先ほど話し合ったことになるのですが、ほかに何かありませんか。
- 委員)
お尋ねですが、先ほどのALTの話ですが、JETから派遣をされる時は、こちらかはどういった人がいいですというような希望はおあるのですか。
- 教育長)
こちらから指名はできませんが、うちの場合はアメリカ英語圏の方をお願いしています。
- 事務局)
それでは本日はご多用にもかかわらず、本会議に出席していただきありがとうございます。ありがとうございました。

午前11時10分、閉会を宣告